

鶴見に住む 南米につながる人びと

鶴見には、南米につながる人々が多く住んでいらっしゃいます。どういう経緯で鶴見に住むようになったのでしょうか？今回は、その歴史に詳しい沼尾実さんを講師としてお迎えしてお話を伺います。

入管法改正以降、南米からの編入生徒が増加してきた潮田中学校に1992年から99年まで勤務された沼尾さんは、主として南米につながる子どもたちと保護者とともに多文化共生をめざしてきました。

鶴見に住む南米につながる人々の背景と歴史的推移、沼尾さんが設立されたIAPE（イアペ＝外国人児童生徒保護者交流会）の活動、経験に基づくお話をうかがいます。ぜひ聞きにいらしてください。

■ 日時：2023年9月23日（土）
13時30分～14時30分
（受付開始13時15分）

■ 参加費：500円

■ 会場：鶴見国際交流ラウンジ会議室
鶴見区鶴見中央1-31-2（2F）
（JR鶴見駅東口・京急鶴見駅より徒歩1分）

■ 講師：沼尾実さん（IAPE顧問）

■ 申込み：「メール」oishiitsurumi@gmail.com あるいは右の「QRコード」のお問合せフォームよりお申し込みください。



※当会は今年2月から鶴見にする多様なルーツの方に出身地の料理を教えていただいて、一緒に楽しむ会を潮田地域ケアプラザのご協力を得て、潮田地区センターで実施しています。令和5年度「鶴見区新たなチャレンジ応援補助金 対象事業」です。活動の様子などはこちらからご覧いただけます。

<https://www.facebook.com/tabunkatsurumi/>

主催 多文化共生つるみの会